

静岡大学理学部同窓会会報

NO.11

発行所
静岡大学理学部同窓会
静岡市大谷836
静岡大学理学部内
Tel 054-237-1111(代)
会長 赤池大樹

理学部の改革

理学部長 福島邦雄



理学部同窓会の皆様方には、益々御発展、御活躍のことと存じます。
現在、静岡大学は、構想として参りました改革が現実

のものとなる時期を迎えておりまして、向こう数年間の間に大きく変貌をとげようとしております。平成七年十月一日からは、永く存続して参りました教養部が消滅し、これに関連して、新しい学部として情報学部が発足、人文、教育、理学、工学、農学の各学部とも、新しいスタッフを加え、それぞれの学部の新体制を整えて、未来に向かって門出をする事になります。既に、情報学部の設置は確定し、工業短期大学部は廃止され、工学部は学科再編を終えて、全学の再編成が進行中であります。七年度は人文、教育、理学、農学の各学部が再編成の最終的な準備を整える年度となります。

同窓会会員の皆様へ

副会長 石渡達也



平成六年は、大江健三郎氏がノーベル文学賞に輝き、不景気等による寒々とした世相にほのかな灯火がたったような雰囲気包まれました。しかし、暮れも押し詰まっ

た十二月二十八日の三陸はるか沖地震、年が明けて一月十七日未明の兵庫県南部地震と続き大変な被害をもたらせました。特に兵庫県南部地震は都市直下型地震で、神戸市付近に壊滅的打撃を与えました。高速道路、新幹線の橋梁や高架部分が脆くも崩壊し、鉄筋コンクリートの建物が破壊されている様には驚かされました。会員の中にも被災された方があるかと思えます。犠牲者の方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。また

うな形に変貌するのか、最終的な結果が出てみないとわかりませんが、少なくとも、現在の各学科を構成している小講座は再編され、大講座制へ移行することが予想されます。これは、先端科学分野のめざましい発展に対応して、個々の問題に対処できるだけでなく、これらを総合的に解決し得る能力を身につけた独創性のある学生を育成することを目指すこと、また、研究領域の拡大と専門分化の著しい自然科学分野において、さらに新しい領域の開拓とその基礎理論を構築することを目標としての改革であります。同窓会の皆様は、卒業した時の講座がなくなつて、寂しい気がなさるかもしませんが、現代科学と社会の進展に対応して、理学部も合理的な形に生まれ変わるための変化でありますので、この改革を切りをつけることはできないでしょう。

我が静岡大学も一九九六年六月に開学五十周年になります。昨夏、文理人文学部同窓会より同窓会主催の記念事業を共同でやりたいという申し入れがありました。しかしその事業計画の規模の大きさ、経済的負担、我々のマンパワーを考えると、記念事業はやはり大学主導で要請のあったものへ協力する程度以上は無理であるかと考え、お断りしました。大学も新しい大学像に向けた新学部の増設、教養部廃止、各学部の改革等が行われているさなかであり、今後理学部と話し合う機会を持ち、節目としてふさわしい企画を考えたいと思っております。

平成七年は規約によりまずと総会を開催する年なのですが、過去の総会の出席者が少なく、役員と先生のほかにわずかという状態でした。こじんまりとして互いに親しく語り合いました。が、やはりさびしいものでした。

そこで今回は総会は取りやめて、議決事項はアンケートで行いたいと思っております。この様な行事は同窓会を活性化させる手段でもあるから積極的に行った方がよいとも考えられます。暗中模索中で決定的なアイデアは我々にもありません、よいアイデアをお持ちの方は提案して下さい。

(化学科3回卒)



月曜演習風景（「理学部案内」から転載）

顔触れは定年と転出などで大幅に変わっている。学生数の増加は特に、全員出席の「月曜演習」の授業に強く影響した。C三〇室は月演には手狭になつてしまつたのだ。そのため去年、月演は形式をやや変えて、C三〇室とB棟の大講義室B二〇二の

地殻物理学講座 狩野 地質構造の解析による日本列島の発達史。増田 変形した岩石による地球の変動の解析。道林 変成岩・深成岩の変形様式。
地球環境学講座 新妻 酸素・炭素同位体比による地球環境変動、地球磁場変動、東海地震及びフォッサマグナ地域の地殻変動。鈴木 地球生物圏における炭素・リン・イオウ循環と環境変動。石川 岩石の化学組成による地球の物質循環の解析。

はやいもので地球科学科が発足して、今年は二〇年を迎える。振り返ると、一九七九年に大学院理学研究科修士課程地球科学専攻が設置された。一九九三年には、地球環境学講座が五番目の講座としてできた。

この新講座の設置は、前年の「入学定員改訂」による学生定員十名増を契機とした。地球科学科は、地殻に係わる既設四講座が満たせない分野として環境系講座の増設を要望していた。これは環境問題に対する世論にも合っていたようだ。こういふわけで地球環境学講座の設置は、学科にとって大層喜ばしい出来事だった、と思う。

現在、研究室と実験室などは従来のC棟三・四・五階にあるほか、二階東端に広がっている。薄片室と高温高压変形実験室は工作センターにある。また裏山には、理学部付属地殻活動観測施設が建っている。学部学生の定員は現在、当初の三〇名から一九九〇年の臨時増五名を含めて、

地球科学科20年

黒田直

どちらかで開いている。先生の中に米国出身の若いロスさんがいる。学生たちの話では、一年生は英文教科書を使った演習で、ネイティブ・スピーカーとしてのロスさんから丁寧な授業を受けているようだ。

終わりに諸先生の最近の研究内容を「理学部案内」などから紹介する(敬称略)。

地殻進化学講座 池谷 介形虫類を素材とした種の分化過程の解析。阿部 ウミホタルの自然史を通して探る生物進化。茨木 浮遊性有孔虫化石を使った、地質年代と環境の復元。千葉 生物の多様性の起源と進化。

海洋地質学講座 北里 考現古生物学と堆積物・水境界面の変動の解析。海野 火山と、マグマの結晶作用と冷却過程。北村 水河性海水準変動による浅海環境の変遷過程の解析。

地殻化学講座 黒田 高 マグネシア安山岩系岩石の成因。和田 炭素・酸素などの同位体比による地球の歴史の解析。ロス 大気及び海洋における二酸化炭素の循環。

無題

生物学科 窪田裕一

大学を卒業して早五年、私は花王(株)に入社し、現在和歌山にいます。昨年夏、和歌山市で世界リゾート博が開催され、皆さんの中にも訪れた方が多いかと思ひます。本博は和歌浦湾の一部を埋め立て主会場としたが、そのすぐ横に広いグレンデが整備されています。ここは、関西一円からウインドサーファーが集まる格好のグレンデです。私も和歌山に転勤後、ウインドサーフィンの魅力にとりつかれてしまいました。年一回静岡県の浜名湖にて実業団の大きな大会があり、それに向け毎週のようにここに通り練習に励んでいます。ちなみに花王は、実業団大会では毎年上位入賞を果しており、数年前には一度優勝したこともあります。和歌山は、海も綺麗で、また冬も暖かくマリンスポーツには最適の場所です。皆さんも是非一度遊びにきてみてはいかがですか。(第二十回卒)

財産

地球科学科 池田暁彦

大学時代は自分にとってなんだったのか時々思う。自分は今、大学で学んだ知識を活かすべく防災関係のコンサルタント会社に勤務しているが、同業の方にもわかると思うが毎年の年明け一月から年度末三月までは地獄のような残業が続き、家にも帰れないような状況

となる。その時、こんな激務に耐えられるのも地質が好きだということ、ひとえにも大学で鍛えられた精神力のおかげではないかと感じる。他のことでもそうである。一昨年七月には大学時代からつき合っていた彼女と結婚、趣味の車は大学時代からひたすら走り続け、遠く離れていてもよく遊ぶ連中もみんな大学の悪友ばかり。こうしてみると今ある自分の人生は全て静大につながっているような気がしてならない。誰しもが大学時代を長い自由時間として貴重だというが、自分はその四年間を自分の人生の大きな転換期として、様々な知識を得、多くの人々と

同窓生の声

出会い、かけがえのない財産を築いたのではないかと、自分にとって有意義に過ごしたのではないかと誇りに思う今日この頃である。(第十一回卒)

地球を思う

化学科 松浦 宏

静大在学の頃から地球規模での物質循環に興味を持ち、大学院では地球化学を学んだ。その時、地球環境はとてつもなく繊細なもので傷つきやすいことに気が付いた。また、太平洋を航海したとき、地球に対する人間の小ささ無力さを強く感じた。

私の思う理想の地球環境は、物質・エネルギーが過不足なく循環し、多くの生物種が共存できるものである。しかし、人間は自然から恩恵を受けているにもかかわらず、保護することを忘れがちである。やはり、自然の前では謙虚な姿勢と思ひやりの気持ちで人間にとつて大切だと思ひ、地球環境を変えようと思ひ、地球環境を人間が変わらなければいけない。現在私は自動車関連会社で、排気ガス浄化対策のテーマに取り組んでいる。先に述べた理想郷をめざし、今後も環境、リサイクル、資源・エネルギーの諸問題の解決に向けて積極的に取り組んでいきたい。

最後に、こうした今の自分があるのも卒研である無機・分析化学講座の先生方および先輩・同期の方々のおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。(第二十一回卒)

パワーを

物理学科 大谷寿幸

「パブル不況」という文字がマスメディアに登場しない日はありません。我々が卒業した六年前が新入社員数が最大であったように思ひます。そして生れたのが我ら「パブル社員」です。パブル社員は仕事の量を

こなすことを期待されました。六年が経ち、パブル不況の下、質の時代、それも飛び切り上質の時代へ。職場でもよく「よいテーマ」といふ話が出ます。

学生時代に得たもの

数学科 大野博史

卒業後、NTTに入社して六年が経ちました。現在は、電気通信設備の遠隔保守システム開発を行って居ます。いかに省力で最大の効果を上げるかをモットーにワークステーションとニラメッコしています。時の流れというのは早いもので、二年前、結婚し、この四月には一児の父親になろうとして居るのが不思議なくらいです。

パブルによる遅れを取り戻すには、やはりパブル社員が頑張るほかありません。学生時代のパワーを蘇らせ、よいテーマに挑まなくては、しかもより正確に、より迅速に。ああ、学生時代のあのパワーを再び我が手に!

例えば、私の学生時代は授業をサポートして悪友と麻雀ばかりしていた記憶があります。徹マンして英語の試験で遅刻し「来年またやったら」と言われたりして、学業は悲惨なものがありました。仲間や気にかけてくれた先生方のおかげで

もって無事卒業できましたが、「持つべきものは友」とはよくいったものだと思ひから感謝しています。社会に出てからも人に助けられることは多くあるものです。感謝する心は、人とのつき合いを良くしていくものです。その心を与えてくれたのが学生時代だったのです。今は、そんな悪友たちと時々会って、いつも変わらない話をするのが楽しみです。(第二十一回卒)



事務局より

その一 現会則では

(集会)

第一〇条 集会を分けて総会・役員会・理事会とする。

総会は四年に一回以上とし、役員会は随時開催する。ただし、理事会が必要と認められた時は、臨機にこれを開催することが出来る。

役員は、会長・副会長・支部長・幹事・顧問・理事・会計監査をもって組織する。会長は、役員会および理事会の議長となる。

と、あります。

平成七年は、総会を開催すべき年です。

設立総会は別にして、過去に開催した二回の総会は、出席者数約四十名で、会員数四千五百名の二%でした。

同窓会では、現在、各種事業の持ちかたについて、会員の親睦を深める何か良い方法はないかと模索中ですが、今年の総会は葉書による投票及び意見交換で、これに替えて頂きます。

その二

今年「同窓会名簿」発行の年です。住所確認書を送付いたしますので、四月上旬までに、投函してください。

毎年、会報を発送していますが、「宛名に該当者が見当たりません」ということで、四百通位が返送されています。

今回、住所不明者の一覧を同封します。ご存知の方がいましたら、是非、

野口和広(名簿担当理事) 千代静岡市中田一丁目三番八号)へ、葉書又は封書でお知らせください。

その三

平成六年五月から郵便振替の口座番号が次の様に変更されます。御承知ください。〇〇八六〇一四一六〇四七九但し、平成七年いっぱいはい、旧郵便振替用紙も使用できるので、旧の用紙が入っている人もいます。

その四

平成五年度から、同窓会費が終身会費一万円となつて居ます。御承知ください。昭和五十九年度から平成四年度までの九年度とは別に、「平成五年度以降の分として一万円を納めていただく」ということで、予算をたてました。

が、平成五年度からの九年度、会費・寄付等で一万円以上納めていただいた方もあります。そういう方からは、どうしても、終身会費をいただこうとは思って居りません。二年間ご迷惑をお掛け致しました。

なお、郵便振替用紙は事務的繁雑さを避けるために全員に郵送しております。御承知ください。

その五

同窓会には、独立した事務局を設置し、専属の事務局員を置く余裕がいまのところありません。そこで、化学科の菅野先生にいろいろ迷惑をかけておりました。

今回、会長宅にFAXを設置致しました。今後、同窓会に関する用件は会長宅専用FAXへお願い致します。

FAX番号 〇五四四一五八一〇四九

平成5年度静岡大学理学部同窓会会計報告

(~H. 6. 3. 31)

収入の部

前年度よりの繰越	1,070,160
年会費・寄付(12件)	43,500
終身会費(新入生196件)	1,960,000
終身会費(卒業生247件)	2,470,000
入会金(27件)	27,000
名簿代	14,900
受取り利息	25,355
計	5,610,915

支出の部

印刷費	197,890
通信費	186,787
会議費、事務用品費、払込手数料等	128,120
総会費	0
積立金(特別会計)	3,000,000
計	3,512,797

差引残高 2,098,118

以上報告致します。

平成6年3月31日

会計担当理事 浅野 安人 杉本 杉子 金子 正純

監査の結果、報告の通り相違ありません。 監査 佐藤 洋一 松山 初男